

津市久居アルスプラザ
Artist-in-Residence Program

勢州久居 ART RISE 2026

滞在アーティスト

大竹紗央

Sao Ohtake

2026年度「勢州久居 ART RISE」の
参加アーティストが決定しました
滞在期間中は、市内をめぐり地域住民と交流をしながら
作品制作のためのリサーチや制作活動を実施します
アーティストの滞在制作活動について
ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします

滞在期間：2026年6月22日(月)～7月31日(金)

勢州久居ART RISE2026 滞在アーティスト 大竹紗央 成果発表展

座れる場所を探して／Finding a Place to Sit

7月24日(金)～31日(金) 10:00～19:00(最終日は10:00～17:00) 火曜休館

会場：津市久居アルスプラザ エントランスロビー

主催：津市久居アルスプラザ(指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)





アーティスト・イン・レジデンス・プログラム

勢州久居 ART RISE 2026

国内外から招聘したアーティストが津市の豊かな文化や風土を体験し、町に住む人々や場所と密接に関わりながら、新しい視点と切り口で地域に根差したアートを創造する試みです。



©Ceren Eskicirak

大竹紗央 Sao Ohtake

2000年生まれ。触覚的・空間的な表現を通じて、他者との関係における目に見えない緊張や違和感を可視化する作品を制作。2023年にシカゴ美術館附属美術大学を卒業後、2025年にニューヨーク大学大学院 Interactive Telecommunications Programを修了。主な展示は、東京オペラシティコンサートホール(東京、2022年)、デトロイト美術館(米国、2024年)、Leigh Yawkey Woodson美術館(米国、2025年)など。

地域交流プログラム 1/2 (全2回)

▶ 記憶の選択、シワをどう残すか 【参加費無料】

自分の記憶や思い出が染み込んだ布を使って、自分の中にある感情の棘を形にしてみるワークショップ。ここでいう「棘」とは、誰もが心のどこかに持つ、傷つきたくないという感覚の象徴です。参加者それぞれが自分の記憶と向き合いながら、棘を形にしていく時間です。完成した棘は、7月の成果発表展で展示するインスタレーションの一部になります。

1回目: **6月27日(土) 13:00~16:00** 会場: **エントランスロビー** 定員: 15名

2回目: **6月28日(日) 13:00~16:00** 会場: **アトリエ** 定員: 10名

対象: どなたさまでもご参加いただけます。(小学生以下は保護者同伴)

持ち物: もう着なくなったけど捨てられない服、使い古したタオルなど、みなさんの記憶が染み込んだ布をお持ちください。

※布は裁断したり縫ったりして作品の一部に生まれ変わりますので、返却はできません。

参加申込フォーム



地域交流プログラム 2/2

▶ 境界のHabitable Zone —共有と距離のかたち【参加費無料】

布や紙を使って、自分と他者との距離や境界を身体的に探るワークショップです。何かを完成させることが目的ではなく、素材を通じて他者と関わるプロセスそのものを体験する場です。

7月11日(土) 13:00~15:00 会場: **エントランスロビー**

対象: どなたさまでもご参加いただけます。(未就学児以下は保護者同伴) 定員: 15名 持ち物: 不要

参加申込フォーム



トークイベント

▶ 大竹紗央(アーティスト) × 原 舞子(三重県立美術館学芸員) × 大室佑介(建築家・私立大室美術館 館長)

滞在アーティストと2名ゲストによる鼎談を開催いたします。滞在や作品について、それぞれの視点から語っていただきます。

7月25日(土) 14:00~15:00 会場: **エントランスロビー** 【入場無料】

お問い合わせ



久居アルスプラザ

〒514-1136 三重県津市久居東鷹跡町246番地

TEL 059-253-4161

休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月3日
※久居アルスプラザウェブサイトからもお問合せいただけます。
近鉄久居駅から徒歩約11分 公共交通機関でのご来館にご理解とご協力をお願いいたします。

ウェブサイトはこちら

